議　事　録

会議等の名称	第２回東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	開催日時	令和元年7月23日（火） 午後7時00分～午後9時00分
		場　所	東御市中央公民館　学習室８
主催者(事務局)	東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	進行者	清水正博副委員長
	【委員】 清水正博（副委員長）、三溝和子、小林昌義、中堀雅夫（委員長）、篠原博文、武井良一 岡田真平、渡邉真也、上薗美千代（事務担当） 【オブザーバー】荻野孝志（県スポーツ協会）、西村健太郎（県体育センター） 【東御市】山田正仁、小宮山勇司、小林靖宗、手塚小百合		
欠席者	宮嶋武彦、武田順子、関　豊春		

協議事項	(内容及び議題) １　東御市のスポーツの現状について ２　スポーツクラブのビジョンについて ３　今後の取り組みについて ４　その他
主な決定事項 (要点筆記とする)	１　東御市総合型地域スポーツクラブの理念作成の考え方 ・包括的なものではなく何かに特化したものとする。 ・子どもに特化したクラブを目指す。 ２　今後子どもたちを対象としたアンケート調査を実施する
次回への検討事項	・理念案の作成 ・アンケート調査案の作成

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
	副委員長	進行・開会
	委員長	委員長あいさつ・会議進行
	スポーツ係員	（１）東御市のスポーツの現状について、会議資料に基づき説明
	事務担当	（２）スポーツクラブのビジョンについて、会議資料に基づき説明
	委員	理念の設定について：包括的な理念ではなく、何かに特化した物の方がいい。
	委員	子育て支援課の子育て中の保護者向けニーズ調査では、子どもが遊べる場への関心はニーズとしてあること
		が分かる。
	委員	子どもを中心にして、子どもに関わる親や祖父母など大人も巻き込み、みんなで盛り上げる形がいい。
	委員	スポーツ・運動に関心のある大人を育てるために今の子供たちに身体を動かす楽しさ、習慣を身につけて
		もらう。
	委員	スポーツ好きになるか、嫌いになるかの瀬戸際にいる子たちをターゲットにすることで既存にないクラブが
		作れるのではないか。
	委員	ゆるスポーツへのニーズはある。複数種目をやりたい子、やらせたい親が今は多い。
	委員	スポーツだけでなく、文化活動でもエネルギッシュにやりたい事があればOK。
	委員	種目ではなく遊びが主体。
	委員	きっかけ作り、はじめの一歩、一歩踏み出す機会。ゆるいというキーワードが問題解決の一つの入り口。
	事務担当	（３）今後の取り組み（アンケート調査の実施）について、会議資料に基づき説明
	委員	大人主導のアンケートではなく、子どもたちの声を聴けるようなアンケートがいい。
	委員	紙ベースのアンケートではなく、直接、子どもたちに聞ける場を設定してもいいかも。
	委員	児童会の委員長たちを集めて情報を集める、中学生は自分たちで部活を作る仕組みになってもいいかも。
	委員	答えやすく、選択制のアンケートが良いと思う。
	委員	子どもたちが回答しやすいように考慮すれば確実にいい情報が得られる。何をやりたいかをしっかり聞く。
		アンケート後のインタビューの可否を聞き取っておくと良い。
	委員	収入を得て運営をするクラブを作るのであれば、金額についての聞き取りはあった方がいい。
	スポーツ係員	（３）今後の取り組み（人材バンクの創設）について、会議資料に基づき説明
	委員	やりたいと言えば受け入れるのか？
	オブザーバー	県の中でも人材バンクの動きはある。マッチングした指導者に対する責任の所在をどうしていくのか、どの
		ような資格を取らせていくのかなどの設置基準をしっかりと決めていかなればならない。
	委員	総合型のための人材バンクなのか、市のスポーツ振興のためなのかによって随分変わってくる。
	委員	人材バンクをマネージメントするのが総合型というならばいいが、総合型のスタートは熱い思いを持っている
		人でスタートした方がいいのかな。
	副委員長	閉会